

ノ全會ノ改造ノ根本的手段ヲ考ヘサセルコトガ必要デアラウ

第一、全國會議ハ農民組合トシテ農民自身ノ要求ノ中心デアアル土地獲得ノ闘争ヲ中心ニオクコト、

農民ハ決シテ無内容ナプロレタリア獨裁ヲ望ンデハ居ナイコトハロシア革命十月二十四日ノ全露農民大會ニ於テ、ボルシェヴィキガ土地ヲ農民ニ實際與ヘタカラ、ボルシェヴィキニ贊成シタノデ、ソノ前日マデハ、エス、エルガ最も農民ノ間ニ勢力ガアツタコトヲ見テモワカル、無意味ナプロレタリア土地闘有トイフノモ同様デ土地闘有ソノモノ、形及ビ實現ガ農民ノ希望ナノデアアル、サラニ小作爭議ニ於ケル指導ヲ最も中心的仕事トスルコト、

第二、組織ノ全國的統一、現在ノヤウニ個人ノ手紙ヲモツテ組織ノ連絡ノ全部トシ個々人ノ悪口ヲモツテ連絡ノ内容トスルヤウデハ組織ノ大衆化ハ保タレヌ、又自己ノ圍リノ事件、仕事ヲ

過大ニ報告シ待々トシテキルガ如キハブチブル青年、文學青年ニハヨイガ農民ノ闘争ニハ禁物ダ、東京府柳ガ「花々シ」カッタニモカ、ワラズ哀レナ事實ノ存在ヲ示シテキルノハ當時ナツブノ馬鹿共ノカラサワギノミカヤハリ經驗ノナイ指導者ガ獨リウレシク思ヒアガツタ爲デアアル、

我々ハ土地獲得ノ爲ノ闘争、小作爭議ヲ唯一ノ中心目的トシテ全國ニ散ツタ組織及反動的指導下ノ組織ヲモ引キヨセルヤウニ努力シナケレバナラナイ、コノコトハ全國會議ノ大キナ仕事ノ一ツデアアル、

第三、中央部ノ確立ハ全國會議トシテノ最も重要ナコトデコレニハアクマデ地方ノ闘士ヲ充シ地方ノ意見ノ反映ヲ充分アラシメルヤウニスルコトガ大切デアアル、

ソレトトモニ全國委員會ガ規約組織上カラノ權限ヲ充分ニ振フヤウニスベキデアアル、書記局ノ如キハ事務機關ニ過ギナイノデ